

発行所 大熊町公民館
電話(大野)65番
編集責任者 吉田農夫雄
印刷所 加納活版所
電話(平)2409番

精気に充ちた明るい町

おおくま

=手近な生活改善=

時 間 厳 守
お互いに時間を守りましょう!
文 通 安 全

お互いに交通法規を守りましょう!

農村に生きる

青年の主張

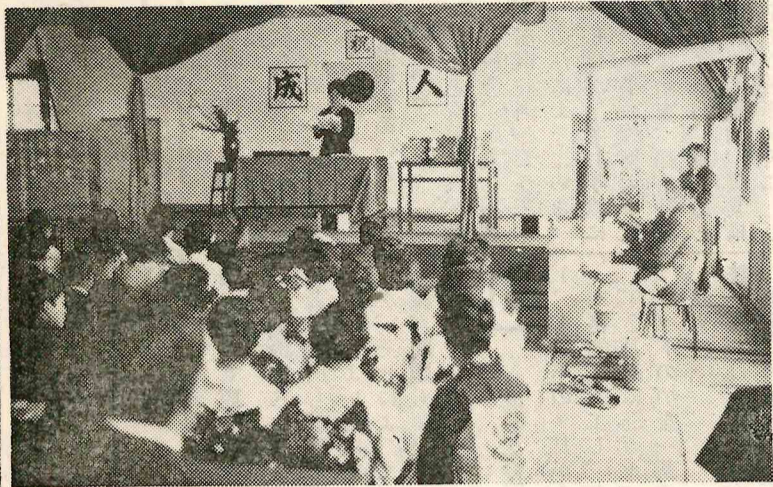
創造こそ喜びである

去る一月十五日、成人の日に、恒例のNHK青年の主張全国コンクールは東京NHKホールで行われ、農業関係者の中国地方代表、中原環恵さん(二位)が入賞された、御聞のがしにあられた方々のために、その発表文を掲載いたします。農業の関心を更に高めたいと思う次第であります。

農村に生きる

中原環恵

私は半年前に乳牛十頭を飼育している酪農家の長男の所へ嫁いできました。農作業では見習生という身分ですが、この半年の経験は私に、農村に生きることの喜びと誇りを与えてくれました。私は結婚するまで鳥取を出て、大阪で会社勤めをしていました。



成人式 ...1月3日...

がれ、文化的な生活という点は一歩も二歩も遅れている農村の生活には、一日も早くさよならを言いたいと思つた時代があつたので、若く女性の一として都会のなややかさは魅力だつたのです。そんな私でしたから、大阪の会社に就職が決まつた時は、もう二度と鳥取には帰るまいと決心して都会に出たのです。しかし、都会の生活というものは、決して私が想像していたよりも甘いものではありませんでした。一日中スモックによごされた空気、いつでもビクビクしてはくはくはならないような対人関係、一日の仕事を終えて夜一人になった時、小さい時からいつも私の周囲にあった土の匂い、潮の香りが私の心を故郷に呼びよすものでした。「もう一度やりな

私にこれからの生きる道を教えてくれたので、そんな時、私は新しい農業経営を目指して意欲に燃えている夫を紹介され、彼の熱意に同感して再び鳥取に帰つたのです。現在の私の家は新しい時代の新しい農業を目指して家族が一つの会社のようになしくみをとつています。両親は水田経営で弟は養鶏をと、家族で仕事を分担し、働いた時間に合わせてそれぞれ毎月給料をもらつています。その上私達夫婦は新しく建て増した生計を営み、夜は夫と二人でステレオ音楽に一日の仕事の疲れをいやします。週に一度は農村の若い仲間が集まってコーラスの練習もしています。私達は農村にも文化的な生活というものを取り入れるため努力しています。農作業にしろ、かたは重労働できたならしいものと思へなかつたのです。

が、夫と一緒に一生懸命やってみると喜びの一滴も残っていない問題が数多く残っているのを知るので、何と云つても農村はまだ遅れています。そうした農村の遅れこそ、私達農村に生きる若者が解決してゆかねばならないのです。私は生まれてくる子供達の手本になるような農業を目指して今後とも頑張りたいと思つています。

明日に生きる 若い力を

温かく見守もつてほしい

大熊町青年学級

鎌田 清衛

新しい年を迎えると何かしら心が引きしまる思いがします。毎日太陽は東から昇り西山に入るのは変わりありませんが、正月は前年を省みて、新しい年に抱負と希望が沸き心身の成長に眼に見えるような節目が向上しなければなりません。これまで学習したことを基礎として、技術

る立場をよくみつめ、社会を視る眼を培うのが最短コースではないかと思つています。お互いがよく理解し人間味溢れる若人となりそれに自分の職業技術を学び、プラスすれば「鬼に金棒」と云えるでしょう。

私達の学級 希望とあり方
大熊町農業若妻学級
小畑とく子
廻り舞台の様に変動する経済の発達につれ何んとかましく生き抜いて行こうと私達若妻が中心となつて立ち上つています。これからは正規の学習以外に希望者ごとのグループ活動をとり入れて、自給による手近な料理、保健と衛生、編物(廃物利用)家庭経済、家計簿のつけ方などのグループ学習によって消費経済面の研究をすすめて、生産と消費の両面から私達の生活をより良くして行きたいと思つています。

農業若妻学級

農業共済制度

保償の基準と手続き

1月19日、共済組合長吉田収氏を講師に、保償の基準と手続きなどについて研修した。(1)保償金と掛金。とりおちの場合の保償金は、各人の掛けた掛金によって違つて来る。大熊町共済組合としては、1kg当り、最

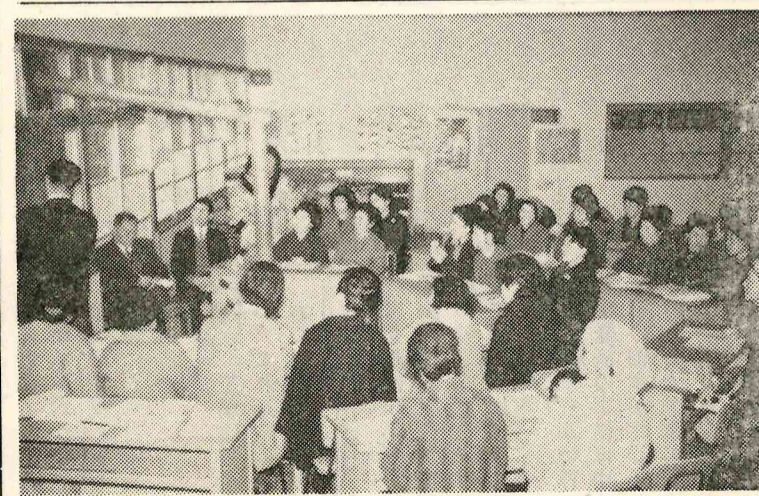
低20円、普通50円、最高80円の掛金制度をとつていて、最高の80円の場合一俵の保償金は四、八〇〇円となる。

(2)部落評価員。町内9つの部落毎に3人以上の評価員が協議して一筆毎に見て評価する事になっている。

(3)組合評価。組合評価員は適任者に対して組合が委嘱し部落評価委員が各部落毎に平均公平に評価したものをもととして町内全般的に一委員が同じ目でみて全般評価する仕組みである。

(4)組合事務局の整理。組合には毎年反収が出来るので以上の評価をもととして組合事務局で計算整理することとなる。但し、平均反収10俵とする。平均反収10俵とおちまでは共済の対象外で4俵のとりおちとする。俵を差し引いた1俵だけが対象となる。

(5)共済加入の問題。牛馬は義務加入であり米は任意加入である(写真は共済制度を学習する若妻学級)



学級消息

2月22日、2月24日まで磐梯青年の家で県青年学級生大会出席者 鎌田、島原

大熊町婦人会

町内政治問題研究会

原発問題を始め各種施策について研究

1月21日(金)、公民館を会場に、大野、熊町婦人会主催の町内政治問題研究会が開かれた。

集合者は本部及び部落役員約四〇余名、役場から池田助役、井戸川企画室長、高野産業課長等、教育委員会から根本教育長等、更に東電原子力建設準備事務所から今村博所長、稲井豊次長等が出席して答弁にあたった。

尚志賀町長自ら出席予定のところ21日朝になって急に、年貢道路その他の町内基幹道路の整備問題その他の緊急陳情のため出席した本研究会は各部落婦人会から出された質問案



＝町政を熱心に研究する婦人達＝

項によったもので一問一答の形で行われたがその内容次の通り。

池田助役あいさつ

現在志賀町政は、教育優先、農業の振興都市計画と云う三本の柱によっている。

したがって41年度には、熊小の改築大中屋体の後始末、都市計画特に年貢路、原発道と跨線橋の整備、農業構造の改善事業等にとり組む予定である。

質 原子力発電所設置について

1、具体化したところを説明願いたい。

2、原発設置によって町が豊かになり、工

場が誘致され、労働者も農民も就職が出来る、よい町になるか、それによって出稼ぎ問題も解決されるかどうか。

東電稲井次長 1、本41年の9月から本格的に着工し、45年2月迄に35キロワットの炉を一基完成する。

経費は三百億現在東海村のものは16万5千キロワットのものが倍より一寸大きいので引いて43年から二番目の炉60キロワットの建造に着手する予定で、これまでも確定した分であり、更に未確定だが60キロワット炉2基を建造の予定で出れば総計二一五万キロワットの出力となる。

東北電力の奥只見水系一帯の総発電量が一九五五キロワットなのでこれよりも大きい、経費は約一千三百億円以上かかる予定で、福島県の一ヶ年の予算が約五〇〇億円であるから見当がつくと思う。

「原子力発電所とは、一般に広島原爆や原子力潜水艦を聯想する。しかし全く別のもの、で米国では10数年前

から出来て居り当初辺鄙なところにつくったが現在は安全性が確保されて都市周辺につくられていて、大事な中心部である核分裂の安全性を保つためには、2mから3m市の鉄筋コンクリートでまわりをかこんで居り私達東電の調査部はこの一年間主として地質と地震の研究をしたがこれは、地震などで絶対にこわれないためである。

現在東海村につくられている原発は東京震災の時の地震の3倍の場合を考えてつくっており、又東京震災の三分の一の地震で自動的に核分裂が止まる様に自動制御棒と制御球の二重の装置がとられている。

「双葉地区に新しく売取した30万平方メートルの石炭はあと50年ではなくなる」と云われ、重油もいづれなくなる時期が来る。火力発電では1キロワットの経費が2円70銭、原子力発電では2円85銭から2円90銭かかるが世界各國はいづれも原発移行の状況にあり、コストも50年頃には、火力発電と同じ位になると思う。

現在日本の電力は火力7割、水力3割の割合だがいづれ、火力と同じ位の比率になると思う。

以上の見とらうしから将来を考えて新たに隣接した双葉地区に

30万平方メートルの土地を買収した訳である。9月、本工事前に着手する仕事。社宅と埠頭:

社宅 社宅用地として、大熊町下野上2区焼山地区に7万5千坪、双葉町天王山地区に7万5千坪を売却して、鉄筋四階建の独身寮とテラス付き二階建て一棟四世帯の社宅団地をつくる。

一階は居間、二階は寝室で、四十一年四月に着工して十二月迄に一部は本建築を完了の予定である。

埠頭と石 機械は米国から買うが大きいのは一ツで長さ10米、高さとも7米、重さ300トンもある。始めは横浜か神戸で三千トン位の船につみかいて、小名浜港で揚げ道路を運ぶ研究をしたが困難なことが判ったので用地内に三千トンの埠頭をつくらせて直接揚陸することになった。

ふ頭は海中に石を三十万立方メートル程をその上にブロックをつむので石を広く原町市から平野附近にかけて捜したが、大熊の町長さんから何とか玉ノ湯の石を使ってくれとの事で石の調査と運搬するための道路の調査をしてきたがいかながら玉ノ湯石は私達が期待する規格にあつた石でなかった。

川内石と云う事になった。元米石をつかっても町としてはたいして得になる訳ではなくかいて頻繁なダンプの往来で土ホコリになる位だと思ふ。たゞ皆様方はこれに付随して道路が良くなると思はれたらしいがきくところでは都市計画で道路の整備を企図されているとの事なので解決されると思ふ。

町長がボヤボヤしているから石を富岡にとられたではないかなどと云う人があるときいたが、私はなにも町長さんの肩を持つ訳ではないが石の問題は純粋に私どもの技術的な問題なのです。

9月以降の本工事 就業労働力の問題 41年の9月から本工事に入るが、先づ建設地の海岸線を二〇〇米巾で削り始める。敷地整備作業から始まり、大手業者も入りこんで来る事となる。

社員は41年暮には本社から60人程度、地元から30人位いで全部で80人乃至90人だと思ふ。

一番忙がしいのは43年から44年頃で、第一期の30キロワット工事と第二期の60キロワットの工事がある。社員も二百五十人位となり、請負業者が五百人位それに労働者を加えて二千人、三千人位が働く事になると思ふ。

以上が大体の工程である。原発が出来、町がゆたかになり、工場が誘致され、労働者も農民も就職が出来、よい町になるかそれによって出稼ぎ問題も解決されるか。

工場誘致 原発が出来たら工場が来ると思はれない。重油を使う火力発電の場合は石油会社が来るが原発はちがう工場誘致は県や町の政治として別な問題である。

就職問題 10ヶ年間続く工事に各種業者が入り込むこの場合頭株や高度の技術と熟練を要する要員は本社から来るか、てことなる労働者は地元から充足するので多少就職はふいふ。

よい町 10年の先にはすくなくも固定資産税は10億円前後となるだろう。但しこれは県に入るもので町に全部入るのではないが、これ等をどの様につかつかつて良い町にして行くか云う問題だ。

水道の設置 「上水道を引く考があるかどうか。野上地区は採石により朝夕川の水が泥水となり閉口している。

一日も早く水道を望む。

井戸川企画室長 39年に県から技師を招いて水量と質の調査をした。

上水は町内の灌漑用水で手一杯なので熊町の鍛冶屋川原に地下水を掘って研究したところ良い結果が出たので設計してみたら一億四千万位かかる云うので町議会で時期尚早と云う事になった。

その後野上から取水出来る云うのでこれが可能なら安くなるので本41年度調査をして早く作り度い考いでである。

特別失対について 池田 助役 質問が総合的で真の意図が判らないが、「質問補足」

「生活に困る者が出るべきなのに、田畑の多い者が出ている」と云う事だと思ふ。特別失対は全国でもあまりなく大熊と浪江位でないかとの事である。

大工事なのに金がないので特別にお願いで出来たもので関係者が主として登録されたもので財産のある者は止めるにしても特別失対そのものをやめよう云う政府の意向なので新規に登録するのはむづかしい状況である。一律にとりあつかっている。

困る者にもボーナスがないと云うので議会での意見もあり、速急に善処方研究中である。

工場誘致について これからの見とおしをおききたい。大熊町は昨年四月に低開発地開発特別振興法の特別指定を受け目下工場誘致に対する研究中である。

但し皆御存知の様に日本経済の実情は中小企業の倒産が相ついでいるので企業の進出は必ずしも容易でない状況にある。

目下県において県土振興計画にもとづく双葉地方のブロック振興計画を樹立中なのでその完成につれて大熊町振興計画を策定すべく、町内第一次産業を邪魔しない様に開発道六号国道線をはさんだ地区を主として工場適地の調査をすすめて居り三月の議会には誘致条例を上提する予定である。

原発設置に伴う人口増加にそなえて学校建築をどう考えているか。

他所の状況では定住人口の急激な増加はない様だし、大熊地区でも東電等の住宅団地の造成に伴う義務教育対象の増加は昭和50年頃までは大したことはないと考えられる。

池田 助役 町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

町営住宅の建設計画 今後の見とおしについて

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

従ってとりあえず現施設と設備の整備に力を入れるべきであり、団地等の増加につれ第三小学校等も考えるべきだと思ふ。

東電稲井次長 学校距離の問題は、スクールバスの配置で処理出来る問題だと思ふ。

都市計画と道路設定計画について 池田 助役 幹線道路の整備都市計画については、県としては富岡地区と一緒に考えているが町としては何をいっても大熊町独自の都市計画が必要でありこのためには41年度は計画の基本線として幹線道路の整備を実施する予定である。

即ち旧大野地区から熊町地区を東西に貫通する年貢路を待線橋と共に拡充整備し大野駅構内荷卸し場から東電を結ぶ原発道を整備する。

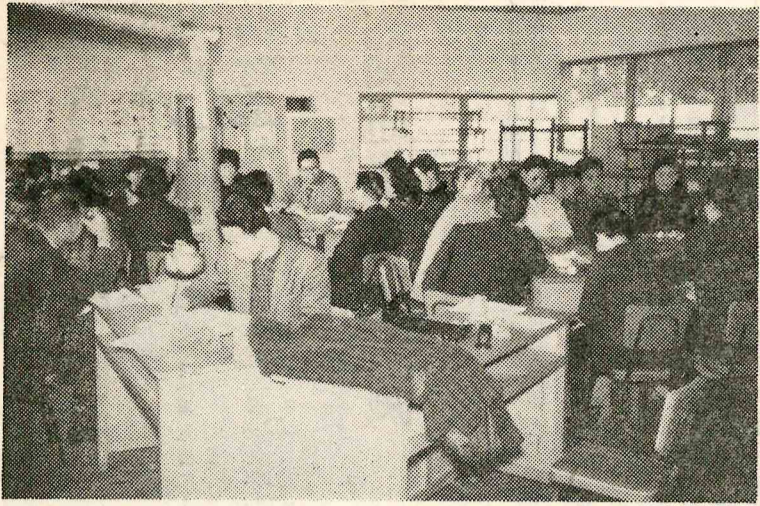
41年度はこれ等幹線を通じて大熊地域の動脈を完成したい。

住宅問題 町営住宅の建設計画 今後の見とおしについて

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。

町営住宅は現在六〇戸あり、40年度分としては町営住宅を二〇戸と別に教員住宅を一〇戸建築完了した。



一月二六日、青年学級生は我が家の生活設計。●グル

41年度分はまだ未確定だが計画的に建て行く予定である。別に勤労者に対しての積立て分譲住宅を建築するために目下研究を進めている。

質 観光計画
原発設置に伴い観光地としての計画があるかどうか。

答 井戸川企画室長
原発を中心として、阿武隈一帯の山系と海岸を含みしかも双葉郡一帯にまたがる観光地計画について研究を進めて居り、町内としては、一林班を桜花の山とする計画です。二千本の桜の木を植えたが継続して三、四千本にしたい。

玉の湯開発は双相開発の手で計画を立てている。

何れにしても、原発の工事開始に伴って見

学者が多く来ると予想されるし、これ等人達がすぐに帰って終わらない様に、観光地として、又土地の土産品などについて速急に手をうつ考

質 採石
大熊町で採石出来なくなつた経過を承り度い。

答 東電 稲井次長
先程の御説明でお願いと思つた。

質 病院問題
大野病院の改築と総合病院にすることは出来るかどうか。

答 池田助役
議会と共に数回にわたって県に陳情し自民党県連政調会長からも来年は実現するからと言質を得ている。目下、若松、喜多方

大野病院の順に実施の予定で喜多方病院に着手中で一年位は遅れている。それが必ず実現出来ると思つて、今後とも陳情を続ける予定である。

質 中学校統合
中学校の統合問題はどう考えているか。

答 根本教育長
統合すべきだがその時期が問題だと思つた。統合するならば富岡に行くとか、双葉に行くとかの事も耳にしているが、子供の考えなどのことを考へてみる必要があると思つた。必要があれば通学して勉強するのは子供の自由だ。

統合の場合、中央に別につくるか、現在の大野中学校を利用するかの二つの途があると思つた。現実には合わせるほかにないと思つた。

この場合大野側の人達には問題はないと思つた。熊町側特に小良浜などでは問題があると思つた。従つて時期についてはよく考へる必要があると思つた。無理に強行して騒ぎをおこすのはどうかと思つた。

町長とは立場も観点もちがいが、大体同じ考へだと思つた。

先日屋体などのこと、石城郡の小川町の学校を視察したが小川町でも中学校統合で反対があつて容易

に表現しなかつたが、あるキツカケがもつて実現し今では大変よるこぼれていると思つている。

質 農業計画
今後の町の農業計画について。(農業対策)

答 高野産業課長
農業維持の上での問題は労働力である。東電の工事の進むにつれ労働力がますます少なくなつて来ると思われる。

東海村での研究の結果をみると、労働力などの理由から田畑の放棄が多いことが判つた。

現在の田畑をある一定の大きさに作り換へ機械力を入れて労働力をへらすべきだと考へた。

これがため、水田と畜産を主とした農業構造の改善を実施する予定で昭和41年度に指定をうけ、42年度末まで調査を実施の上43年から実施に移る計画である。

水稲、葉煙草、果樹畜産が町内主要産業であり、果樹については、成木の切り換えを含む団地拡張のため補助申請中であり、山林開放のためには特別委員をつくらせて現地調査中である。阿武隈山系の適地に牧草地帯をつくり畜産の振興をはかりたい。

養蚕も桑園分散のため労働力が多くかかるので41年度から桑園の集団化を積極的にするつもりだ。

現在野上地区で一ヶ所やつて居るが共同飼育場も必要になるので短期間には無理な点もあるが是非すすめて行きたいと思つた。

葉煙草は専売局と連絡して現状を維持して行きたい。

追加質問
煙草で養蚕家は泣いて居るが何とか調整が出来ないか。

答
協議委員会で調整を図つて居るが、生活権に関係もあることであり、補償も容易でなく、代替地などの問題も出て来るので、当事者の理解を得て善処して行きたい。

質 東電寄附
東電から寄附された一、五〇〇万円の使途行方について。

答 池田助役
東電 稲井次長
原発の用地買収等については、地主の考へがたなど絶大な御理解と御協力に本町にスムーズに運びたいと思つた。

おり社長もそのつもりだ。

ただ会社はトップレベルで約束してもすぐ仕事は具体的にすすむものではなく、紙に書いた書類に20位の関係者が印をべたべた押してから初めて具体化される仕組みになつて居る。お世話になつて居る。お世話になつて居る。お世話になつて居る。

熊町小学校の改築にかかると問題の経過について。

質 小学校教育
熊町小学校の改築にかかると問題の経過について。

答 根本教育長
熊小改築については議会でも決定済みであり、九千万円程の予算が必要である。現在は学校建築には一億二千万円位は一般にかかると云われている。

熊町の補助事業にしたこの町長の考へでこの町長には危けん校舎に指定されることが必要で当然条件がある。まだ確定はないが確定次第41年から工事にとりかかりたいと思つた。

町の長期振興計画にも計画されていることでもあり、町長も早くやりたい意向である。

質 部落公民館
部落公民館の建設をしたい。

答 池田助役
部落公民館の建設をしたい。

は今迄は出していなかったが、予算ともならみ合わせて今後には出す様にしたいと思つている。

東海村視察の結果でも部落分館は殆んど完備されている。

紙に書いた書類に20位の関係者が印をべたべた押してから初めて具体化される仕組みになつて居る。お世話になつて居る。お世話になつて居る。お世話になつて居る。

熊町小学校から夫沢分校までの道路を手入れしていただく。六号線は学童の通学には、きげんと思われたい。

質 池田助役
本道路の補修は決定済みであり、早急に改修工事に着手する。

質 健康等の問題
原発が出来た時その結果が町民の健康に影響はないのか。

答 東電 稲井次長
国民の健康には全力をあげており、周囲に働らく者にも万全の着意が施されるので心配は全くない。モニターステーションを三、四ヶ所つくるほか、モニターカーをうごかして常時空気の汚せん度も計ることとなる。

「その他主な質疑から」
防犯灯をつくらせて欲しい。

答 池田助役
町長も考へて居り、必要な箇所には設置する考へである。

東電 稲井次長
警察の方で派出所をつくり、部長以下三名位を常駐させると

いつている。

東電 今村所長
人夫は構内に収容する大半はこの附近の東北の人達になると思はれるので絶対問題をおこす心配はないと思つている。前任地の千葉でも派出所があつたが、あまり問題がなかつたので殆んど常駐しなかつた。

最後に話しあひの結果次の様な要望事項を町当局に提出することになりました。

要 望 事 項

- (1)熊町小学校の改築を促進していただくこと。
- (2)都市計画の構想を出たら館報で発表してもらいたい。
- (3)道路については、家のこととは関係ないが、町民の健康保持のためにも、上下水道の実施を促進して欲しい。
- (4)防犯灯の設置を要望する。

特に、夫沢地区、三角屋、野上地区、野上区部落分館

上 棟 式

部落ぐるみの熱意と努力によって急ピッチな工事をすすめ2月16日武内耕治氏宅を会場に盛大な上棟式を挙行了。

昭和32年8月10日部落婦人の手で部落復興の叫びのもとに納税組合を結成してから10年今後の進展を注目されている。

農業青年学級

一月二十六日

農協の役割と実態

1月26日、講師石田農協組合長

農協の役割

農協の共同組織の発達促進と協業生産力の増進により農民の経済的地位の向上を計り国民生活の向上に資する。

(2)全国組織と下部組織

全国組織として信用連、販連、共済連、厚生連、中央会があり、県組織として信用連、共済連、厚生連、中央会があり、市町村組織として信用連、共済連、厚生連、中央会があり、支所がある。

(3)農協の今後と大熊農協の実態

大熊農協は現在職員16名で、今後2-3名増員の予定である。今後町村合併によって一郡一農協を目指す。合併当時の欠損金は熊町二九〇万、大野一三〇万であった。

(4)信用事業の実際

信用事業の実際 二億二十四万円 昨年度予定 二億二十四万円

(5)農協貯金の全国保護

農協貯金の全国保護制度の設定。 基金 一三二万円 普通貯金 一億一千五百三十三万円 学童貯金 五九四万円 婦人部貯金 二二二万円 定期貯金 七、四六四万円 計一億九千八四五万円 尚現在煙草、養蚕、

(6)米の組合売り渡し

米の組合売り渡し 四、〇〇〇俵(七六%)業者渡し七、〇〇〇俵で(二四%)現在全農協復帰運動を展開実施中である。

(7)農協婦人部の活動

農協婦人部の活動、婦人部貯金、生活資料の販売(特に予約販賣制実施)。研修が主で農協に対する感心を深めるのが目的である。

交通安全全標語

世界の願い交通安全
ブレーキは早目に！
スピードは控え目に！
運動者
運転者
歩行者
スローガン

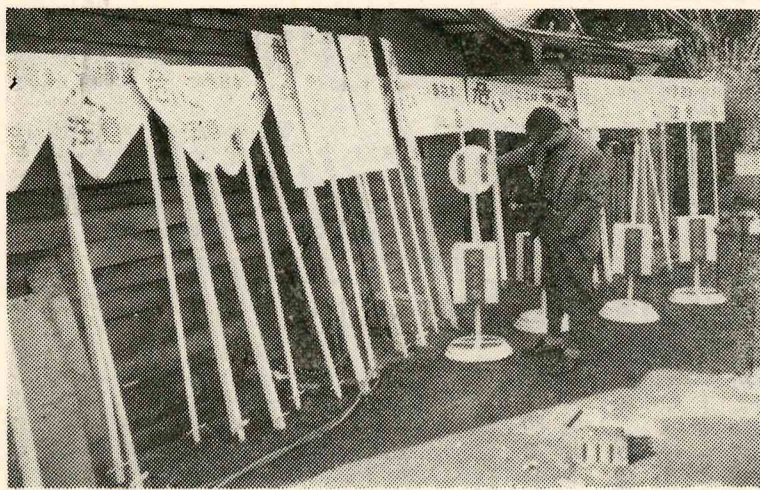
交通事故を撲滅

しよう!!

第6回交通安全全国総ぐるみ
運動全国大会に参加して

交通事故を撲滅
しよう！
第6回交通安全全国総ぐるみ
運動全国大会に参加して

大会は東京を会場に
1月19日、20日の二
日にわたって開催され
た。
19日は各都府県で日本都
市センターを会場に地
方組織部会、運送業者
部会、運転者部会、婦
人部会、子ども部会、



交通標識と井上会長

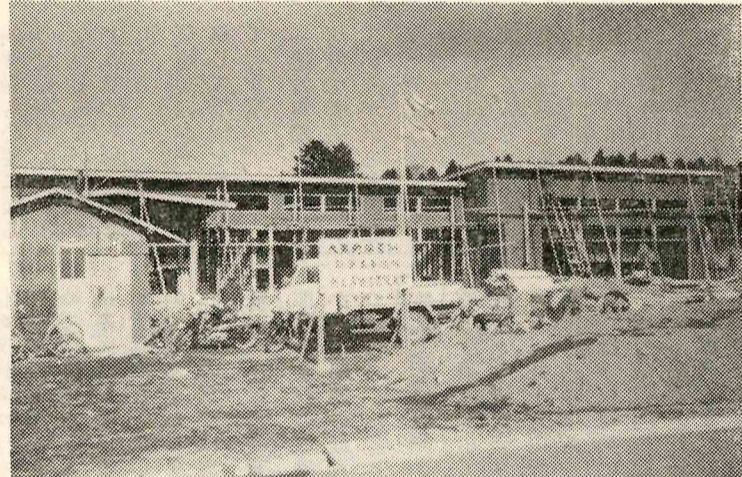
交通安全協会、運転者会、
交通安全母の会、緑の
おばさん等各団体が一
体となって交通事故絶
滅に積極的な運動と努
力をしていくが事故は
依然として増加の一途
をたどる現状で一人一
人が交通法規を認識し
歩行者も運転者も交通
のルールを知りこれを
規則正しく実行して秩
序ある交通を行うなら
ば事故絶滅は可能だと
確信して居りますので
皆様の御協力をお願い
致します。
▽各部会提案事項のう
ちから。
1、地方組織部会、
(イ)市町村の交通関係の
税、罰金を施設費と
して市町村に交付す
る措置。
(ロ)交通専門病院の拡充
強化。
(ハ)運転者への精神的教
育。
▽運送事業部会
(イ)統一した方向指示器
について。
(ロ)被害者救済について
自賠法に基づく補償
額の大巾な引上げを
望む。
(ハ)飲酒運転の絶滅。
▽運転者部会
(イ)公的交通事故相談所
設置と二輪車運転者
のヘルメット冠帽の
法制化。
(ロ)青空駐車一掃につい
て。
(ハ)運転者の立場から要
請したい交通事故防
止対策について。
▽婦人部会
(イ)交通安全母の会の予
算について。
(ロ)パトカーの人員車輛
の強化。
(ハ)子供の安全教育と母

親の交通知識の向上
について。
▽子供部会
(イ)わたしたちの学校の
交通安全活動。
(ロ)交通規則を守るため
には(自転車車の免許
制度)
(ハ)交通事故の統計上二輪
車で頭部打撲傷による
死亡が大半をしめてい
るので車に乗る時は男
女を問わずヘルメット
を着用して事故による
死亡者を絶滅する様に
御協力下さい。
又自賠法による補償額
の増大(死亡者一人
壹千万円とし、財源
は罰金徴収の中から
国が支出、現在の保
険料据置)、緑のお
ばさん、黄金ママさ
ん、婦人交通指導員
その他交通安全婦人
団体に對する国庫の
助成金支出要望など
出された。
当地でも交通安全協
会並に運転者会も人
命尊重の施設方針を
高くかかげて交通道
徳の高揚と交通事故
絶滅に万全を期して
いますので各種団体
はじめ町内皆様の御
協力をお願いします
先日大野婦人会の皆さ
んに交通安全協会費の
徴収をしていただき大
変苦勞をおかけしまし
た。厚く御礼申し上げ
ます。
この金がどう使われる
かと関心を持たれた方
も多いと思います。
又それが当然の事であ
り、それが交通安全の
意識の高揚にもなりま
すので41年度も大野熊
町婦人会に御協力を
お願い致しますと思

新春放談

原発の槌音
宝庫を解く鐘

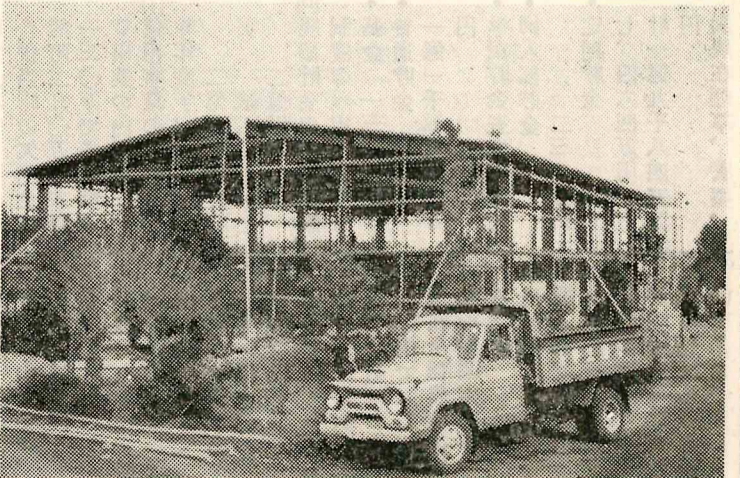
40年度の決算はすみ次
第回覧板その他の方法
で皆さんに協会費の使
途をお知らせ申上げま
す。
富岡警察署内運転者会
大熊町支隊長井上文男
町分会長。
出来ましたので危険場
所に近く建てる予定に
なつて居ります。
県交通安全協会大熊
町分会長。
富岡警察署内運転者会
大熊町支隊長井上文男
町分会長。
富岡警察署内運転者会
大熊町支隊長井上文男
町分会長。



完成間近い保育所

たのもしき新郎とならぶ孫嫁に
老の涙のはばかりもなく。
病みはてし老の命の残りいて
孫の祝儀に出合うしあわせ。
余念なく自動車の玩具つくりおる
孫の仕草をしみじみとみる。

辺として、浜通りの開
発道6号線を結ぶ郡山
一 大熊道をもう一度み
つめるべきではあるま
いか。
第3に、自分自身をも
う一度じっくりと見つ
めてみる必要がないだ
ろうか。
お正月の政治座談会
の中で社会党の江田さ
んが次の様な事を述べ
られた。「社会党内で
は最も左翼ばりな事
を云つたものに引きつ
られて、自民党
では最も右翼的な事を
云う者に引きつられて
終つた。本日の政治は極
端ではなく中間にある
のだから、お互いにこ
の点を直すべきだ。
「とがく世の中では強
いことを主張したり積
極的な意見を述べる方
が威勢もいし、人受
けも良い。
然し一面、強い意見
は誰にでも出来る事であ
つて、至つて勇氣の
いらぬ事なのだ。
大東亜戦争や、第二次
大戦で私達は威勢の良
い積極論に押しまわら
れて手を打つ時期を失
つた為に苦汁をなめた
のは御存知の通り。
實際生活の中で一番
大切なのは中庸を歩む
事であつて、この為
こそ勇氣が必要なのだ。
物事は尺取り虫の様
な状態で進歩して行く
一千万とか一千万五
とか云われた赤字財政
も大かた目鼻がつき、
原発の起工とにらみ合
わせて今こそ地域行政
は、縮まった姿から大
きく伸びる段階に來た
が、それにしても、良
く総合的な判断から現



完成を急ぐ大野中学校屋体

人間開発
人に始まつて人
にかえる。
合理的とは一面無駄
がないと云う事だ。
ここで私達が考えなけ
ればならないのは、私
達は人間であつて、そ
の事こそ総ての中心に
なると云う事だと思つ
人間生活とは、元來が
幸福の青い鳥を追いな
がら、泣いたり、笑つ
たり、悲しんだり、喜
こんだりの営みが続け
る事なのだと思つ。
科学技術の進歩と経済
万能な今の世の中では
ともすると情愛や、宗
教的な気持をうしな
い、カサカサとしたう
つて人間性が埋没して
終つ。
金に追いまわされたり
日夜意味のない他人の
悪口にあけられたり
人を陥し入れる権謀術
策に日を送るので人は
人間があまりに可愛想だ
地域をあけて、お互い
に心から信じあえる様
な、お互いに心から愛
し合える様な人間性の
恢復に努めたいものだ。
双葉地方開発の将来
を考えると、残念なが
ら立地条件その他から
凡そその限界がわかる。
ただ地方開発に残され
た未開発に近い分野が
一つある。
それが人間の開発
であり、立派な人をつ
くる事だと思つ。
この点、双葉農業高
校の増築、保育所建設
大野中学校屋内体操場
新築、教員住宅建築と
続いている一連の人づ
くりのための基盤整備
に力を入れての事は
賢明な施策だと思つ。
衣、食、住の充分で
ない所に人は住めない
し、原発設置に伴つて
入町する人々にとつて
は、子供の教育こそ唯
だ一つの宝であり至上
命令なのだ。
吉田 農夫雄